

さつまる Voice

(さつま町民 Web アンケート)

～ あなたの声が 未来のさつまを創る ～

(第 1 回) 子育てに関するアンケート調査結果



令和 8 年 8 月
さつま町行革推進室

回答期間:令和8年6月18日～7月20日(33日間)

回答方法:Web アンケート

回答件数:261人

順位	お住まいの地域	回答数(人)	割合(%)
1	宮之城屋地区	68	26.10%
2	虎居区	40	15.30%
3	佐志区	18	6.90%
4	湯田区	17	6.50%
5	船木区	16	6.10%
6	柏原区	14	5.40%
7	久富木区	11	4.20%
8	平川区	9	3.40%
9	神子区	9	3.40%
10	鶴田区	9	3.40%
11	山崎区	8	3.10%
12	求名区	7	2.70%
13	中津川区	7	2.70%
14	時吉区	6	2.30%
15	紫尾区	6	2.30%
16	白男川区	6	2.30%
17	二渡区	6	2.30%
18	永野区	4	1.50%
-	合計	261	100.00%

1. 質問ごとの集計結果とグラフ

※回答人数 261 人に対する割合（小数第一位を四捨五入）を基に、1 メモリ＝約 2%としてグラフを表示しています。

問 1: さつま町での「子育てのしやすさ」は？



問 2: ご自身の世帯で町からどのような子育て支援を受けているか把握できていますか？



問 3: 子どもの遊び場（公園や屋内施設）の充実度についてどう思いますか？



問 4: 近隣の市町と比べて、さつま町に「最も足りない」と感じるものはどれですか？

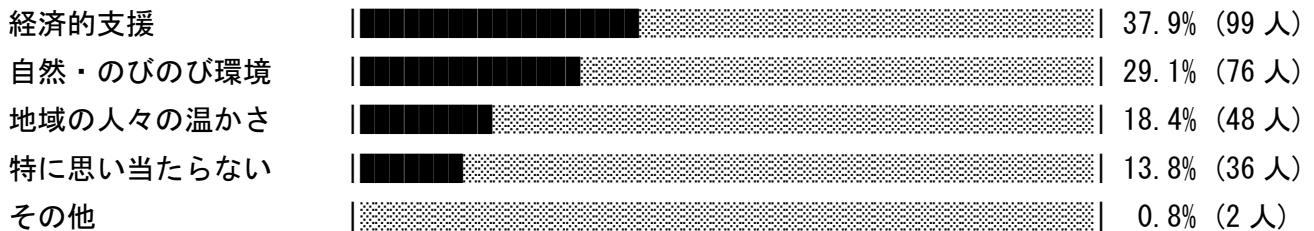


【問 4-1 その他の理由】

- 居住可能な家族向け不動産
- 教育環境（学習塾不足とレベルの低さ・義務教育への力の入れ方不足・高校進学が町外だとバス、バイクと不便で補助がない）

- さつま町にはスケボー出来る場所が無いので子供達がスケボー出来る場所を作ってあげて下さい。
子供達がスケボー出来る場所が無くて困っています。
- 移動手段の確保が難しい

問 5: 近隣の市町と比べて、さつま町が「最も優れている」と思うものは？



【問 5-1 その他の理由】

- プールが良い。経済的支援は充実しているが、家族で楽しめる公園などのお出かけスポットが少ない。
- 個々の能力が高い(特に子ども達の部活動や少年団、吹奏楽のレベルが高く、少子化の中すごいと思う。)
- 紫尾温泉と湯気院の生茶大福

問 6: お子さんは高校卒業後、一度は「町外へ出る」と思いますか？



問 7: 将来、お子さんに「さつま町に戻ってきてほしい」ですか？



問 8: お子さんが将来、さつま町に戻るために最も必要だと思うことは何ですか？

地元での仕事・収入		72.0% (188 人)
暮らしの利便性		20.7% (54 人)
働く親のサポート		5.7% (15 人)
独自の教育・体験		1.5% (4 人)

問 9: 親であるあなた自身は、今後もさつま町に「住み続けたい」ですか？

不便がなければ住みたい		59.4% (155 人)
ずっと住み続けたい		23.8% (62 人)
機会があれば移住したい		11.5% (30 人)
わからない		5.4% (14 人)

問 10: 「新たな子育て支援策」ができるとしたら、どれが一番魅力的ですか？

最先端のデジタル・探求		30.3% (79 人)
放課後の居場所づくり		24.5% (64 人)
キャリア教育(社会人等)		20.7% (54 人)
国際交流・英語教育		16.1% (42 人)
その他		8.4% (22 人)

【問 10-1 その他の理由】

問 10 「新たな子育て支援策」で「その他」を選択された方から、25 件のご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。

【遊び場・居場所について】

- どの年代の子供でも雨の日にのびのび遊べる場所が欲しい。
- 室内で身体を動かして遊べる施設。町内には雨の日に行く場所がありません。
- 長期休暇期間中など子供は自宅で過ごしている。保護者不在の時は友達を自宅に招くこともできない。トラブルなどを避けるためにも、学校側の指導自体は理解するが、それならば外で友達と遊び過ごす場所があったらと思う。
- 廃校や使わなくなった体育館を活用したスケボーパーク作りを子供達が希望しています。

【教育・保育について】

- 町外の高校通学に関わる費用の支援。
- 就学家庭にとって、制服代の一部補助など。3 年間しか着ていないのに、下の子はまた新しく新調しなければならないのは家庭にとって負担が大きい。

【地域とのつながりについて】

- 子育て世帯の横のつながりを意識し、また孤立を防ぐため、頼れる機関やサービスを認知してもらったり、相談できる人が増えるようなイベントや機会の提供をするとよいと思う。頼れる場所や人がいるだけで、親の生活に安心感が出る。

【経済的な支援について】

- 色々な物が物価高で毎月の出費が大きくなってきているため、毎月の支援。

【仕事・雇用について】

- 長く働ける会社、安心して子供を育てられる環境があることが大切だと思う。特化したものを考える前に、生きていくための環境が整っている事が必要だと思う。

【医療について】

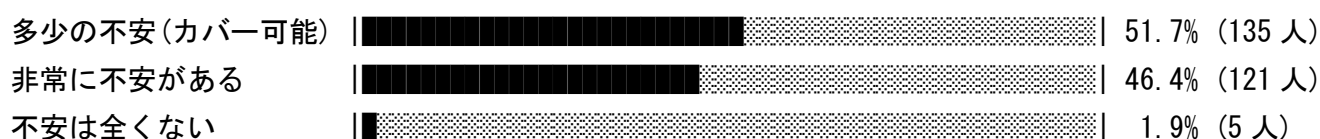
- 助産院の立ち上げ支援をして、町内で産み育てる環境を整える方が先ではないかと思う。子育て支援を考えるなら、まず既存の子育て支援を見直して、改善すべきところを改善していくべきではないか。

※ご意見の掲載にあたっては、個人や特定の施設・事業者が識別されないよう、一部の表現を削除または一般的な語句に置き換えています。また、明らかな誤字は修正しています。ご意見の趣旨は変更していません。

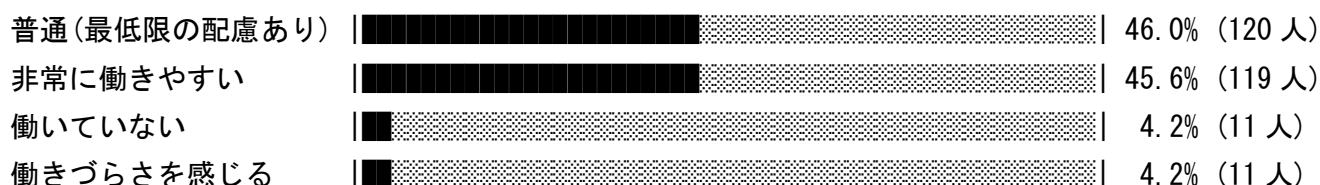
問 11: 子育てに関する行政手続きはデジタル化(スマホ対応)してほしいですか？



問 12: 小児科の夜間・休日救急や、産科医療などの体制に不安はありますか？



問 13: ご自身の職場は、子育てへの理解や「働きやすさ」がありますか？



問 14 アンケートテーマに沿ったご意見

「その他、子育て環境についてのご意見」には、103 件のご意見をいただきました。主なご意見は次のとおりです。

【遊び場・居場所について】

- 子供が遊べる全天候型の施設があればと思います。暑い日の公園などは、遊ぶことは難しいので。
- 屋内施設が充実していればいいと思います。天気が良ければ公園で遊ばせられますが、天気が悪いとどうしても家でのゲーム時間や動画視聴の時間が増えてしまう。
- 公園等遊び場が不足していると感じています。旧宮之城町内に集中していると思うので。
- 遊具のある公園はたくさんあって良いかなと思いますが、無料で野球やサッカーができるような広場があれば子どもたちの遊びも広がるのになと思います。
- 公園は豊富ではあるが手入れが行き届いてない箇所があるので定期的に手入れしてもらえると遊びに行きやすいです。
- まわりに何もなく放課後、休日は家にいてゲームをするだけなので友達と遊べる場所がほしい。身近に公園などあるとうれしい。
- 10 代が遊べる環境、集まれる環境がないため、なかなか友達と遊ぶ機会が少ない気がします。

【医療について】

- 町内に産婦人科が無いいため妊娠中と出産時はとても不安がありました。さつま町に産婦人科ができればもっといい町になると思います。
- 小児を診てくれる病院が少ないので、休日に体調が悪いと遠くの病院しかなく、体調が悪いのに遠くまで連れて行くのもどうかと諦めてしまう。
- 平日の夜間当番医がすぐわかるようにしてほしい。(ホームページ掲載など)
- 常勤の皮膚科がなくなったり、病院の存続についても町としての取組も期待したい。
- 経済的な支援・行政サービスについて
- 保育料と給食費の無償化、図書館の充実、公園の行き届いた整備、環境に恵まれた子育てができ、とてもありがたく思います。
- さつま町に引っ越してきて、子育て支援の充実に驚きました。とても魅力的で、ありがたいです。他の自治体は保育園に空きがなかったり、利用料が高いと聞いてとてもありがたく思っています。
- 物価高による価格高騰で子育て費用が心配なので、色々な手当の支給をして欲しい。
- ひとり親の医療費の申請がラインでも出来るようになったので役場まで行く時間を作らなくてよくなって助かりました。

【教育・保育について】

- 高校が 1 つしかなく、そこでは希望する学びができない場合町外へ通学となるが、バスの便も減ったり、バス代が高額だったり、高校生を育てるのが大変だなと感じる。さつま町から通っている高校生には交通費の補助を考えてほしい。
- 学童の利用時間が 18 時までだと、働き先が町外になった時がお迎えが間に合わない。対応時間をもう少し延長してほしい。夏休みについても、始まりの時間が親の出勤時間と乖離がある。

- 小中学校は賛否ありつつも統廃合を実施しましたが、その成果や振り返りはされていないように感じます。子どもの学力の変化、地域の人口や活力はどうなったか、定期的にデータを取り公表すべきと考えます。

【仕事・雇用について】

- 子供たちが大人になっても、さつま町にのこるためには、魅力的な働ける場所や余暇が過ごせる環境がなければ、この田舎に残ることは難しいと思う。
- 職場の子育てに関する理解が深まれば、もっと働きやすくなり子育てしやすくなると思う。育休制度など福利厚生面の充実。
- 買い物・生活の利便性について
- 食料品は町内で買えますが、それ以外のものは町内ではほぼ買えない。買い物や商業施設まで隣の市町まで行かないといけない。
- もう少し、子供用の衣料品等の充実があればいいなと思う。隣町まで買い物に行かなくてはならず、移動時間がもったいなく感じる。

【地域とのつながりについて】

- 田舎だからこそ様々な世代や世帯が繋がれる可能性が高いと思うので、自分自身もこの町で積極的な生活を送りたいです。
- 地域の役職やスポーツ推進や、青少年育成、民生委員など人口が減っているのに、係の数や活動する団体などは減ってないので、1人当たりの負担が昔と比べて確実に大きくなって来ている。一部見直しではなく全体のモデルを町が提示して新しく再編する時期なのではないでしょうか。

【住宅について】

- 町内で広いアパートを探すか、家族向け(3LDK以上)はあまりなく、空き家も古くて住みにくいものが多い。町の中心に家族で住みやすい広いアパートなどがあるといいなと思います。

【子育て支援に対する受け止め方について】

- 保育料と給食費の無償化など、環境に恵まれた子育てができてありがたく思います。しかし、少子化に伴った様々な支援がある一方で、この状況が面白くない大人も存在します。「今の人はいいよね」と色々な場所で、色々な言い方で言われます。いくら沢山の支援があっても、職場、スーパー、生活区域で毎日のように言われるので、住民の考え方が変わらない限り、子どもは増えないと思います。なお、町の支援策に対する評価は一樣ではなく、支援策の拡充に疑問を示すご意見も3件ありました。

※ご意見の掲載にあたっては、個人や特定の施設・事業者が識別されないよう、一部の表現を削除または一般的な語句に置き換えています。また、明らかな誤字は修正しています。ご意見の趣旨は変更していません。

2. 自由意見欄の取りまとめ(全回答のカテゴリ別要約)

【医療体制への不安・要望】

- 産婦人科がなく、妊娠中や配偶者不在時の受診に大きな不安がある。
- 小児科の夜間・休日対応や入院設備がないため、遠方(薩摩川内市等)まで行く必要があり負担。
- 皮膚科が週1回しかなく、学校や習い事と重なり受診が難しい。常勤の皮膚科を望む声多数。

【遊び場・居場所・施設に関する要望】

- 雨の日や猛暑日でも遊べる「全天候型・屋内施設」が切実に求められている。
- 中高生が放課後や休日に集まれる居場所がない。
- 図書館の充実度は自慢。統廃合せず新しい本を増やしてほしい。
- 廃校や体育館を活用したスケボーパークなどの整備希望。

【経済的支援・行政サービスへの評価と要望】

- 保育料無償化、医療費助成(高校生まで)、給食費補助など、町の手厚い経済的支援には感謝の声が非常に多い。
- 物価高騰に伴う商品券等の支援、ひとり親の医療費窓口負担ゼロへの要望。
- 学童の利用時間(18時は早すぎるため19時まで延長希望)や、夏休みの開始時間見直しの要望。
- 高校通学のバス代補助や、制服代の補助要望。

【雇用・住まい・暮らしの利便性】

- 魅力的な働き口や、十分な収入が得られる企業が不足している。リモートワークなど多様な働き方ができる環境(IT 特区など)を望む。
- 家族向け(3LDK 以上)の広くてきれいなアパートや住宅が中心部に少なく、引っ越しの障壁になっている。
- 商業施設や飲食店が少なく、隣町まで行かないと買い物が済まない。

【教育・子育て環境への懸念】

- キャリア教育(企業見学や体験)への賛同が多く、職業体験を望む声多数。
- タブレット教育に対する懸念(SNSトラブル、学力低下、脳への影響)。デジタルを遠ざける教育を望む声。
- 「手当をもらえて楽だね」といった周囲の大人からの心ない言葉があり、地域全体の子育て理解や意識改革が必要。

3. 自由意見欄の分析

自由意見では、町の手厚い経済的支援（保育料無償化や医療費助成）を高く評価する声が多い一方、暮らしの質に関わる課題が浮き彫りになっています。具体的には、産婦人科・小児科夜間救急の不在に対する強い不安、雨の日や猛暑でも遊べる屋内型遊び場の不足、日常の買い物が完結する商業施設の欠如などが挙げられます。また、魅力的な働き口や家族向けの賃貸住宅の不足を指摘する声もあり、利便性向上が強く求められています。

4. アンケート全体の分析

約 9 割が「子育てしやすい」と回答する反面、6 割以上が「子どもは将来町外へ出る」と予測し、親自身も約 4 割が町外居住を容認しています。定住の条件として「地元での仕事」と「暮らしの利便性」が圧倒的多数を占めました。町の手厚い経済的支援は魅力的ですが、医療体制への不安や商業・娯楽施設の不足が定住意欲を削いでいます。人口減少と若年女性流出という課題の解決には、日常の安心と利便性を高める施策が急務です。